

クエスト通信

天童三中総合学習担当発行

令和5年12月12日

1年生の探究学習 出前授業

未来の自分に向けて今やるべきこと 私の行き方発見プログラム

私の”行き方”は、パナソニック株式会社の創業者である松下幸之助が生前使用した言葉です。11月30日(木)、本校1年生とパナソニックの社員をオンラインで結び、授業を行いました。これまで総合の時間に、**会社の役割**(どのような役割の人が会社を支えているのか?)、**職業と能力の関係発見**(仕事をするために必要な能力とは何だろうか?)を学習しました。出前授業では、パナソニックの社員が、”会社””仕事””価値観””人生”について、講師の考えや思いを交えて講話を行いました。



2年生の探究学習 コーポレートアクセス「中間報告」

11月16日(木)、インターン企業ごとに4クラスに分かれて中間報告を行った。当日は、天童四中と山辺中の先生も授業参観。学校コーディネーターの川合さん、野田さん(東京:教育と探求社)、岩手県金ヶ崎町立永岡小学校の校長先生もオンラインで授業参観。インターン先の企業からは大和ハウスとLineヤフーの企業人から中間報告についての助言をもらった。



生徒の感想

- ・中間発表で、企業の人にプレゼンをして、いいねいいねとも言ってもらったけど、企業の方や、他の班の人にもアドバイスも何個か頂いたのでアドバイスを生かして、もっといいプレゼンを作っていきたい。【佐々木 和道】
- ・他のチームの企画の発表やアドバイスをもらってまだまだ企画を改善できると思った。今回の中間発表からいろんな視点から考えることが大切だと分かった。【伊藤 彩華】
- ・企業の方からの鋭い意見や自分達がうまく進んでいなかったところのアドバイスをくださってとてもいい時間になりました。この機会を生かして企画をより良くしていきたいです。【林 ひまり】

3年生の探究学習 ソーシャルチェンジ「最終発表」

11月30日(木)、社会課題探究として取り組んだ「困った人を笑顔にする企画」を各チームがアイデアを凝らし、体育館においてポスターセッション方式で発表しました。助言者として東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科長 檀上祐樹先生と社会福祉法人つるかめ事務局 寒河江貴子先生に来校していただいた。どのチームもギャラリーの呼び込みから始まり、ユニークなプレゼンテーションばかりであった。当日は、フリーの授業参観に設定したので、たくさんの保護者のみなさんにも参観していただいた。

保護者の感想

- ・テーマの選定も幅広くその解決策も多様で工夫されていて面白いと思いました。発表も班ごとに個性がありタブレットで音を使ったりとても良かったと思います。
- ・困っている人をいろんな視点でテーマを考えていて発想力が豊かだなと思いました。発表している子供たちも楽しんでいて、すごく良い雰囲気な学年だなと思いました。
- ・ポスターの作り方(色や文字の使い方)がとても上手でひきつけられるものが多かったです。発表は劇など楽しく見る方も、やる方も和やかでよかったです。困っているというのがまだ具体的でなく、イメージで考えられている点は、中学生らしい気がしました。しかし、きらりと光るポイントは、たくさんあったと思います。
- ・みなさんそれぞれ着目点が面白いポスターセッションでした。自分の視点でいろいろなところに興味関心を持っているなあと感じました。私たち親世代の知らないことを若者たちの着眼点でどんどん発信してもらいたいです。

